

第 1 回中央区清掃・リサイクル推進協議会資料に対する意見とその対応

No.	意見	対応
資料 2 - 2 中央区一般廃棄物処理基本計画 2027(仮称)(案)		
1	図表 8-2「燃やすごみに占める食品ロスの割合と内訳」において、「生ごみ以外」が 70.7%を占めているものの、その内訳（紙ごみなどの可燃物であること）が示されておらず分かりにくいいため、誤解を招かないよう、図表のタイトルや項目の表現を見直すこと。	ご指摘を踏まえ、図表のタイトルを「燃やすごみに占める生ごみの割合と生ごみの内訳」に修正するとともに、燃やすごみと生ごみに分けて円グラフ形式での表現に修正いたしました。 【資料 2 - 2 P41 参照】
2	「食品ロス」や「廃プラスチック」と並んで、「リチウムイオン電池の発火」が深刻な問題となっているため、計画の重要課題として明確に位置付けるべきである。	リチウムイオン電池の発火問題は、区におきましても極めて重要な課題であると認識しております。「第 4 章 清掃・リサイクル事業の課題」及び「5 章 基本理念と基本方針」にその旨を明記いたしました。 【資料 2 - 2 P33, 38 参照】
資料 3 ごみ減量目標の見直し(案)について		
3	「事業用大規模建築物・事業用建築物の再利用率」という表現について、建物自体を再利用するのか、建物から排出される紙ごみ等の廃棄物を再利用するのかが分かりづらいため、「建物から排出される廃棄物等の再利用」といった、実態が正しく伝わる表現へ修正すること。	ご指摘を踏まえ、「事業用大規模建築物・事業用建築物から事業活動に伴って排出されるごみ・資源の再利用率」に表現を修正しました。 【資料 2 - 2 P23, 24, 26 参照】
4	家庭ごみと事業系ごみの割合を示すグラフにおいて、グラフ内に従来推計のデータと比べてどう変わっているのかを注記するだけで理解度が大きく向上する。	ご指摘を踏まえ、前提となる基礎データを明記し、グラフには必要に応じて補足説明を追記するなど、わかりやすい資料の作成を心がけていきます。
5	ごみの重量を 1 リットル当たり何キログラムで設定したかなど、推計の前提となる基礎データを明記した方が良い。	
6	区収集ごみ量に占める家庭ごみ量と事業系ごみ量を推計して目標値としているが、あくまで推計であるため、目標値として示すものは推計を使用せずに進捗が確認できるものにした方が良い。区収集ごみの総量を家庭ごみ、清掃工場への持込ごみを事業系ごみとするシンプルな分けの方が全国的にも一般的で実態を正確に把握できる。	ご指摘のとおり区収集ごみを家庭と事業系に分けずに区収集ごみの総量で目標を設定することは対外的にもシンプルでわかりやすく、正確な進捗状況の管理が可能というメリットがあるため、併せて検討する必要があります。ご指摘を踏まえ、資料を作成しましたのでご確認ください。 【資料 3 参照】